



平成26年も残り少なくなりました。今年は慈愛会にとって創設80周年記念の年として特別な年でした。看護部支援室も様々な事業に関わらせていただきとても多忙でしたが幸せな一年でした。その事業を含め、特に感動しつつ情熱を注いだことは、① 本院・分院の病棟編成による看護師の異動 ② 新人内定者研修実施と早期夜勤開始による新人の自立 ③ 資格取得奨学金(認定看護師等教育課程にかかる費用の支援)導入 ④ 日本看護協会長の坂本すが会長と共に健康フェスタを開催 ⑤ 「語り継がれる慈愛の心」集の発行 ⑥ 看護部のクリニカルラダーの構築 ⑦ 看護管理者任用候補者制度の導入 などです。

今年、馬がハードルを飛び越え駆けぬけた変革の年だったと思います。また、診療報酬の改定の年でもあり、今後の医療のあり様を大きく変えられた年でした。どの体制でも在宅復帰率を評価され、看護職は、本物のプロとして、いつでもどこでも通用し自立していることが求められるということです。「住み慣れた場所で最期まで自分らしく生きる」地域の方を支えるのは看護職と坂本すが会長も厚く語られました。慈愛会の看護師は、急性期でも、慢性期でも、在宅でも働けることを目標に力をつけていかなければなりません。病院内看護に留まらず、これからは訪問看護が出来て達人ナースとよび時代です。慈愛会看護師「J-Seatyナース」つまり、豊かな感性、高い倫理観、真の自立性を身につけ、幅広い理論を実践に統合できる看護師です。何かのコマーシャルではないですが・・・「イッデン・ドコデン・ナンドデン」幅広い知識や技術を持った人(ジェネラル・ナース)が慈愛会にはたくさんいるから安心といわれるように頑張りたいですね。

11月26日から3.5日間、将来の看護管理者・教員・スペシャリスト・本物のジェネラリストを育成する研修を行いました。受講生33名の秘めた能力を垣間見て本当に嬉しく頼もしく感じました。研修終了後も見守り、後押しをして参りたいと思います。所属の看護師長さん方も受講生のモチベーション維持向上とご支援をお願い致します。 統括看護部長；中重

看護補助者募集 ~高校訪問~

来年度4月からの看護補助者募集のため、鹿児島市内の高校を訪問致しました。今年度、高校を卒業したばかりの2名の看護補助者(看護助手)が慈愛会に入職しています。明るく、率先して行動し、2名共に夢を持って今現在今村病院分院で勤務しています。このようなフレッシュな人材を確保すべく看護部支援室と本院 稲本看護部長と一緒に高校を訪問しました。パンフレット作成にあたり、写真撮影させていただきました今村病院分院の看護補助者の方々、ありがとうございました。



看護部支援室ホームページ リニューアル

慈愛会のホームページがリニューアルされ、看護部支援室も見易く分かり易くアップいたしました。看護部支援室主催の研修会の様子、既卒Ns入職支援、新人看護師募集、看護補助者募集、看護部支援通信など、取り組みが分かるように変更いたしました。この看護部支援室通信は過去の通信もご覧いただけます。慈愛会のホームページの画面右下に看護部支援室のボタンがあります。



平成26年度 看護管理者任用候補者選考における研修会 開催

Table with 4 columns representing dates from Nov 26 to Nov 29, 2014. Each column lists topics, speakers, and includes photos of the training sessions. Topics include management processes, staff management, education, and group work. Speakers include various department heads and managers.

研修終了後アンケートでは、「この研修を受講して何か変化がありましたか」という質問に、全員が「変化あり」と答えました。「管理者の責任の重さ、大変さが理解できた」「仕事に対する意識が変わった」など前向きな姿勢がうかがえます。12月20日の選考を目指しさらに成長されることを期待致します。